

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 南山す、南山よ、旅田
2. 山城／ルート
大峰・八経ヶ岳（1915m）
3. 交通手段 車
4. 行動記録 <入山日 2014 年 12 月 27 日（土） 下山日 12 月 28 日>
 - ・ 12/27 三宮 6：00 出発⇒熊渡駐車場 8：30 着
熊渡 9：00⇒金引橋 9：50⇒カナビキ尾根分岐 12：12~20⇒ナベの耳 13：16~25-55⇒高崎横手 14：12⇒狼平避難小屋 14：40
 - ・ 12/28
狼平避難小屋 5：35⇒弥山小屋 7：13~26⇒八経ヶ岳 8：04~12⇒弥山避難小屋 8：55~9：05⇒狼平避難小屋 10：14~37⇒高崎横手 11：03⇒ナベの耳 11：33~44⇒カナビキ尾根分岐 12：11⇒金引橋 13：54~14：04⇒熊渡 14：35
5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因
 - a) 予定のルート・日程で行動出来たか？
計画通りの行動が出来た。
 - b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？
発生した場合、具体的に記す
なし
 - c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？
なし
6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す
 - ① 金引橋までの林道にはまったく雪が無かったが、カナビキ尾根下部からしだいに積雪になる。夏道沿いにトレースがあった。
 - ② カナビキ尾根分岐からはブナの樹氷が素晴らしい。
 - ③ 頂仙岳は登らず右斜面を巻くが部分的に滑落に注意。
 - ④ 狼平避難小屋には銀マット（3）、毛布（1）、寝袋（1）が置いてあった。
この日はテント単独 2 張、我々は小屋泊にした。水は沢水を使用。トイレは無し。
 - ⑤ 狼平からの木製階段が終わる付近から、高さ 2 m 程の鹿よけの防護ネットが張り巡らされていて、ヘッドランプを頼りに入口を探す。トレースはあっちこちにあったので惑わされるが GPS でほぼ迷わずに入口を通過する。この先も数本のトレースがあったが尾根沿いを登り詰める。
 - ⑥ 大黒岩手前でトレースは引き返しており、その先のトレースが無くなっていた。明るくなり視界がきくので迷わずに弥山小屋までトレースを付けて行く。部分的に膝位のラッセル。弥山小屋手前の防護柵入り口もロスなく発見できた。（1 か月前の下見山行が功をそうした）
 - ⑦ 弥山から八経ヶ岳間は防護柵の東側（尾根の端）を進む。西側に入ると柵から出れなくなるので要注意。
 - ⑧ さほど寒く無く樹氷の雪山を楽しめた。歩きごたえがあり初級入門に良い山である。



狼平避難小屋



八経ヶ岳を望む



八経ヶ岳直下、背景に弥山



近畿最高峰・八経ヶ岳山頂

報告者氏名 南山房啓 2014年12月30日